

らくわだより

葉月号



遊ぶ時も全力で！



メンバーさんも10名に増え、猛暑の中、汗をかきかき作業に励んでいます。その、労をねぎらい、交流と暑気払いを兼ね、和食系お食事処でランチ交流会を行いました。

普段の作業では見られない皆さんの表情と会話。作業をしている時よりもテンションが上がり、友好関係も出来、スタッフは大満足。メンバーさんも「次はカラオケに行きたい！」「いや俺はボーリングがいいなあ」と美味しい食事をいただきながら、次回の話題で盛り上がりました。

モチベーション維持には欠かせない「働く時」「遊ぶ時」の切替の大切さも伝わったと思います。次のレクリエーションに向けて、らくわ一同働く喜びを実感した一日でした。



Uさんの現状

平成28年4月から介護施設の半日就労に決まり、早や4ヶ月…「最近は大分慣れてきた？」などなど、気になる就労支援員です。

朝から昼まで介護施設で清掃などの仕事、加えて昼からは当事業所での作業と本当にがんばっているUさん。業務の流れは着実に掴み、時間に余裕が出来るほどになるも、新たな課題も見えてきました。

どんな職場でもストレスは付き物。今年は猛暑の連続で、疲労・睡眠不足・意欲低下・業務指摘…。私たちも含め、常にベストな毎日ばかりではありません。様々な要因をどう受け止め、自分の気持ちをどう引き受けるのか…。

障がいに対しての配慮はしていただきつつも、「働く」「お金を稼ぐ」という事の意味をしっかりと学び、「働き続ける気力」を育てていって欲しいと、職場と現状の共有化を図ったり、本人との面談を繰り返し、応援（支援）しているところです。

就労支援員：片桐 円

就業支援基礎研修に参加して

先般、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構主催の就業支援基礎研修に参加しました。朝から夕方までびっしりと内容の濃い3日間の研修でした。私自身、就労支援員となりまだ日が浅く、利用者さんを就労させた後どのような支援が必要なのか、日々悩んでおりました。

以前は障害者を受け入れる立場で勤務しておりました。障害者の方が「定着」せず離職していく場面を見かけた事がありましたが「やっぱり難しいのかなあ…？」程度の理解で終わっていました。

ところが…今回の研修で、利用者の就職した職場へ足を運び、必要な助言や職場との調整をする事で「働き続ける」事が可能になる事を学びました。あの時、適切な支援が出来ていたら辞めずに済んでいたのかも…という思いがこみ上げました。

「本人を変える」「環境を変える」この大きなキーワードを胸に刻んで支援をしていきたいと燃えています。

就労支援員：片桐 円

